

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 94 号	氏名	田中 協栄
学位審査委員	主査 近藤 宇史 副査 相川 忠臣 副査 江石 清行		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、臓器特異的な生理リズムを生み出すと考えられている時計遺伝子の心臓における発現機構を、特に心に働くことが明らかになってきたアルドステロンによる制御について明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ラット心筋芽培養細胞を用いて、アルドステロン及びミネラルコルチコイド受容体阻害物質スピノラクトンによって誘導される時計遺伝子 Per1, Per2, Bmal1 とその標的遺伝子 PAI-1 の発現を解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、時計遺伝子 Per1 はアルドステロン添加で発現誘導が認められ、24時間周期の概日リズムを生じた。その発現はスピノラクトンで抑制された。Per2 の発現は Per1 を介した2次的なものと考えられた。Bmal1 のアルドステロンによる発現は Per1 と逆位相であった。アルドステロンによる転写因子 PAI-1 の発現は時計遺伝子に制御されていないと推測された。これらの解析結果は心血管に及ぼすアルドステロンの新しい機序を示したもので、循環器病学研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は循環器病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			